

笑顔とがんばりの町

広報

# おのまち

平成19年  
No.535

9



## 新しい風を受けて

7月28日に「こまちダムまつり」が開催されました。  
ヨット・カヌーの体験会では、湖面を吹き渡るさわやかな風に歓声があがっていました。  
(関連記事2ページ・11ページ)

# こまちダムまつり2007開催!



7月28日、こまちダムにおいて、「こまちダムまつり」を開催しました。  
 森と湖に親しみ、森林やダムなどの重要性について理解していただくことを目的に、町や県、菖蒲谷・雁股田行政区、夏井川漁業協同組合小野滝根支部、小野町建業会などで組織された「こまちダムまつり実行委員会」が主催となり実施しました。

会場では、通常では見ることができないダム管理棟内やダム本体の中にある監査廊などのダム施設、そしてこまち浄水場施設の見学や、また地元の新鮮野菜やニシマスの塩焼きなどの販売、もちつき大会などが行われました。

こまち湖では、ダム巡視艇「こまち号」による巡視体験や海洋クラブによるカヌーやヨットの実演体験が行われました。

当日は青空のなか、親子連れや夏休み中の子供達など町内外から約7000人が訪れ、今年3月に完成したこまちダムで、初めてのイベントを満喫していました。



# サマーキャンプ中学生の翼

たくさんの体験・思い出とともに帰国

小野町では、国際化時代に対応する人材の育成を目的として、中学生の海外派遣事業「サマーキャンプ中学生の翼」を実施しています。

16回を迎えた今年も、団員15名・引率者3名の18名が、7月28日から8月6日までの10日間にわたり、アメリカ合衆国ニュージャーシー州グリーンロック町でのホームステイ、ニューヨーク州ヒルトップ町でキャンプ活動を行ってきました。

初めての外国での生活を送りながら、ホームステイでの英会話やキャンプ活動での集団生活の実践をとおして、貴重な体験を積んできました。

団長ならびに団員の帰国報告を紹介します。

## 第16回「サマーキャンプ

### 中学生の翼」帰国報告

団長（教育委員会教育課長）

鈴木 澄夫

サマーキャンプ中学生の翼は、中学生を海外に派遣し生活習慣や文化、言葉を学び体験を通じて国際感覚を養い、心豊かな人間形成をはかることを目的に実施されております。

本年度のサマーキャンプ中学生の翼は、町内中学2年生15名（男子生徒7名、女子生徒8名）、引率者3名により、7月28日から8月6日までの10日間、アメリカ合衆国ニュージャーシー州グリーンロック町でのホームステイ及びニューヨーク州ハンコック町でのサマーキャンプを体験しました。

団員15名は、任命式後それぞれの目的に沿っての研修や班ごとの研修計画等の作成、更には英語、ホームステイでの過ごし方アメリカの生活習慣及び歴史と文化等の全体研修など、7回の

事前研修を行い7月28日の出発にのぞみました。

7月28日（日）よよよ出発の日です。午前8時公民館前で穴戸町長、大和田議長、教育長などの町関係者、団員家族のみなさんに見送られ成田空港へ出発。空港に到着後、諸手続きを経て16時50分成田空港を離陸し、約12時間の長旅にもかかわらず団員15名元気に現地時間28日16時14分ニューヨーク空港に到着しました。

空港からはステイブンさん（クリスティン先生の夫）が準備した車で移動し、ニューヨークの市街地や広大な風景に興奮しながら、グリーンロック町の交流パーティー会場へ。ドアを開けるとグリーンロック町長、ホストファミリーをはじめ、小野町でホームステイを経験した多くの方々に迎えられ、手厚く準備された交流パーティーに全員感動しました。パーティーでは、バン・カレン町長の日本語での歓迎ス

ピーチから始まり、ホストファミリーのみなさんが準備された手作りの食事をとりながら、ホストファミリーとの対面や交流など楽しい時間を過ごし、その後それぞれ家族と共に会場を後にしました。

7月29日、ホストファミリーが計画した自由行動で楽しい時間を過ごし、翌30日は快晴の中、ポイントプレゼントビーチでの海水浴を楽しみました。31日、連日暑い日が続く中、ニューヨーク市内見学のため、午前8時にグリーンロック町を出発。まずはハドソン川河口にあるバッテリー公園に到着し、船でリバティーアイランドに渡り自由の女神を見学。午後からは、国際連合本部を訪問し、日本人職員の家内で安全保障理事会などの国連機関及び国連の必要性と加盟国の推移などの説明を受け、短時間でありましたが、世界の情勢と国連の役割について理解を深めました。国際連合本部を後にして向かったところは、マンハッタンの中心地であるタイムズスクエアです。世界各国の人々が行き交う賑やかな交差点を見て、アメリカのパワーを実感しました。

お礼の手紙を添えた贈り物と写真撮影は、見ている私にとっても深い感動を覚えました。

その後、ホストファミリーが見送る中、キャンプ場の車で一路ニューヨーク州ハンコック町ヒルトップへ出発。3時間後、キャンプ地に到着し、まずはそのキャンプ場の広さに驚きました。キャンピングに案内され、スタッフの指導により早速水泳テストから始まりました。キャンプでの生活はすべて英語で行われ、スタッフの説明を聞いて迅速な対応が求められました。当初、戸惑いもありましたが、スタッフの身振り等をきめた丁寧な指導と団員の積極的な姿勢により、水上スキー、ロッククライミングをはじめとするメニューに次々と取り組む、特別に組んだメニューも含め、予定されたスケジュールを全て終了し、8月5日の早朝、ニューヨーク空港へ向けキャンプ地を後にしました。

この10日間を振り返ると、グリーンロック町ホームステイでの生活は、アメリカ人の物の考え方、接し方などを肌で感じ、言葉や文化が違う人

たちとの交流は、団員一人ひとりの人生において大きな財産となりました。また、キャンプ場でのアメリカの子どもたちとの共同生活と、様々なメニューに挑戦したことは団員を大きく成長させ、有意義な経験になったと思います。

今回もサマーキャンプ中学生の翼の計画、実施に携わっていただきましたクリスティン（夫妻）グリーンロックの町長さんをはじめ家族の一員として迎えてくれたホストファミリーのみなさん、また、キャンプ場のビルさん、スタッフのみなさんに心から御礼と感謝を申し上げ、報告いたします。

（次ページから団員の研修報告）



クリスティン先生のご両親と鈴木団長（右）

**草野 恭平** 小野中学校2年1組  
僕は、サマーキャンプでいろいろなことを学びました。

特に、学んだことは、日本とアメリカの文化の違いです。  
アメリカでは、日本と違い、朝食の量が少なく夕食の量は、とても多かったです。また、朝食は、ご飯ではなく、シリアルがほとんどでした。

また、今年には、去年にはないキャンプがありました。キャンプでは、アメリカの子供たちと同じキャンプに宿泊したので、一緒にトランプやチェスを通して、たくさんコミュニケーションを取ることができました。

このサマーキャンプは、僕にとっても良い思い出になりました。この経験を今後活かしていきたいと思えます。



リバティアイランドで(左)



ニューアーク空港で(右)

**会田 ひかり** 小野中学校2年1組

私は、7月28日から8月6日まで、「サマーキャンプ中学生の翼」の仲間達とアメリカに研修に行ってきました。アメリカは、日本とは違うところがたくさんありました。その中でも、食生活と家の造りには、驚かされました。食生活は、朝は、シリアル、昼食、夕食は、肉というパターンが多く、食べるのが大変でした。家の造りは、ほとんどの家に庭がありました。壁は、コンクリートであまり大きくありませんでした。

私がこの研修で一番苦労したのは、時差ボケでした。日本とは、ほとんど昼夜が逆なので、昼は眠く、夜は眠れなくなり、とても大変でした。でも、仲間と過ごしたこの夏は、私にとって最高の思い出です。

**今泉 莉奈** 小野中学校2年1組

私は、このサマーキャンプに参加して、本当によかったと思いました。ホームステイをしたグレンロックの方々、家族はとても優しく、いい人ばかりでした。ホームステイの家族と一緒に買い物に行ったり、野球の試合を見に連れて行ってくれたりして、とても楽しい毎日を送ることができて良かったです。キャンプでは、みんなでアクティビティなどをやって、アメリカの人達と仲良くなることができました。困難なこともありましたが、楽しかったです。このサマーキャンプを通して色々な人と会話をし、たくさんのお話を聞くことができたので、本当に素晴らしい体験ができて良かったと思います。



大西洋の海水浴場で

**宗像 宏晃** 小野中学校2年2組

ぼくは、このサマーキャンプに参加してたくさんのお話を聞きました。

まず、ホームステイ先の家族に、アメリカがどういう国なのか、食べ物、朝、昼、夜何を食べているのか、アメリカでは、どのような服を着ているのか、などを、教えてもらいました。また、一生に一度行くか行かないかというアメリカ大陸を自分の目で見る事ができ、本当に良い思い出を作ることができました。

キャンプ場では、他の国の友達と、トランプなどみんなで遊び、いろんな人とも仲良くなれることを実感しました。このサマーキャンプに参加して最高の思い出を作ることができました。



タイムズスクウェアで(右)

## 先崎 綾乃

小野中学校2年2組

私がサマーキャンプに参加して良かったことは、3つあります。1つ目は、アメリカについてたくさん学べたことです。ショッピングセンターの大きな食べ物や生活の違いに驚かされることばかりでした。

2つ目は、たくさん英語が話せたことです。難しい英語は話せませんが、本場のキャンプ場では、友達もでき、すごく勉強になりました。

3つ目は、たくさんさんの良い思い出ができたことです。水上スキーや、ロッククライミングなど、通常ではあまり経験できないことができましたし、それ以外にも一緒に参加した仲間と、色々な事を体験できて本当に楽しかったです。

機会があれば、もう一度行ってみたいと思います。



キャンプ場のキャビンで(右)

## 会田 知樹

小野中学校2年3組

僕は、「サマーキャンプ中学生の翼」に参加し、たくさんさんの事を学びました。一緒に参加した浮金中の仲間とも、絆を深めることができました。

また、困難なこともありましたが、とても良い研修になりました。特に楽しかったことは、ホストファミリーと海に行ったことです。日本の海とあまり変わりなく、日差しが強かったです。ホストファミリーは、とてもやさしく接してくれました。スーパや色々な店に連れて行ってもらうとても楽しかったです。

最後に、僕にすばらしい経験をする機会を与えてくれた、家族に感謝したいと思います。



ホストファミリーと

## 野崎 哲史

小野中学校2年3組

ぼくは、このサマーキャンプを通して多くの体験をし、色々なことを学ぶことができました。

グレンロック町での、ホームステイの間は、ホストファミリーの家の人達と英語で話し、とても大変でしたが、本場の英語に触れることができました。

キャンプでは、アメリカ以外の他国からもたくさんの方が来ていました。

そして、キャンプの中では、普段できないような種目もあり、難しいものや、簡単なものもあって、疲れることもありましたが、とても楽しかったです。



ホストファミリーと(左)

## 平野 優太

小野中学校2年3組

今回の「サマーキャンプ中学生の翼」では、アメリカでしかできない貴重な体験ができました。

まず、ホームステイ先で思ったことは、会話の中で英語の授業で勉強したことができて、話しやすく気持ち良かったです。食文化については、肉中心ではなく、パスタや魚などができました。

次にキャンプでは、乗馬や水上スキーを楽しむことができました。また、同じキャビンの人とも積極的に会話をし、友達をたくさんつくり、交流を深めることができました。アメリカに行き世界を知ることができました。

最後に、この中学生の翼を支えてくれた、家族をはじめ、団長、指導員の方々に感謝したいと思います。



「グレンロック」の前で(左)

**鈴木 望友** 小野中学校2年3組

10日間の研修を終え、私を感じたことは、日本とアメリカでは価値観が違うということでした。食生活や生活習慣など様々な点で違いがみられました。でも、アメリカの知人が忙しい合間をぬって会いに来てくれたことや、ホームステイ先のメイト家の優しさ、キャンプ場での会った人々の親切さという人のあたたかみは、日本の人々と同じでした。

ただ、一つ後悔したことは、自分の勉強不足で思うように会話ができなかったということです。本場の英語を聞き、積極的に話すことで、少しでも自信につなげることができました。

最後にこのような貴重な体験をさせて下さった方々、そして両親に感謝したいです。



ホストファミリーと



ホストファミリーと

**吉田 菜奈** 小野中学校2年3組

私は、7月28日～8月6日までの10日間、「サマーキャンプ中学生の翼」に参加し、アメリカへ行ってきました。

今回のサマーキャンプで学んだ事は、団体行動での一人一人の責任の重さと、どんな事にも、挑戦し続けることの大切さです。言葉がうまく伝わらなくても、相手の目を見て聞くことする気持ちがあれば伝わるのだということを実感しました。

今回のような貴重な体験ができたのも町長さんや家族が与えてくれたチャンスのおかげだと思います。また、無事帰国できたのも、団長はじめ指導者の方々のおかげだと思います。今回のホームステイでは、改めて家庭のありがたさを気づかせてくれた研修でした。

**石井 智貴** 浮金中学校2年

アメリカでの10日間は、私にとって短く、いろいろな面で自分を成長させてくれたものでした。

ホームステイは、日本語が通じないという大きな壁がありました。中学校で習ったことを生かし、簡単な単語を使って、生活することができました。とても温かく迎えてくれたホストファミリーに感謝しています。

キャンプは、大勢の外国の人と集団行動をとることで、簡単なコミュニケーションをとる、友達をたくさん作ることで、とても良い思い出ができました。

この研修を通し、アメリカの文化にふれて、とても良い経験をする事ができました。このことを将来に生かしていきたいです。



自由の女神の前で

**長久保 純一** 浮金中学校2年

私は、アメリカに10日間の研修に行き、日本とアメリカの交通の違いや食文化の違いに触れ、これらのことについて、色々調べることができました。人と車が、日本と逆方向に通行し、それによって、歩行者の歩く方向も逆だということを目で見て体験しました。

この研修で一番調べたかった食文化については、日本では、三食すべて満腹になるほど食べますが、アメリカでは、朝はシリアルなど軽く、昼はハンバーガーやサンドイッチといったパン類が多く、夕食は豪華なものをたくさん食べるといった食事が多く、文化の違いを感じました。

今回の研修では、日米の家庭のありがたさを実感しました。最後に、無事引率していただいた方々に感謝したいです。



ホストファミリーと

## 大和田 和 浮金中学校2年

私はアメリカで、ホームステイやキャンプを通して、アメリカの食文化や日本との交通や気候の違いについて調べてきました。そこで分かったことは、アメリカの食事は量が多いことや、道路の車線が日本とは逆である事、信号が縦についている事、日本よりも日差しが強い事などが分かりました。

ホームステイでは、ホストファミリーの方々が、とても親切にしてくださり、私も積極的に会話をする事ができました。またキャンプでは、集団生活で一人が遅れると、みんなが遅れてしまうという連帯責任などを学ぶ事ができました。この十日間は、とても充実したもので、このような機会を与えてくれた皆さんありがとうございました。



ホストファミリーと(右)



『グレンロック』の前で(左)

## 西牧 あかね 浮金中学校2年

初めての海外の研修は、新鮮で、私に多くの刺激を与えてくれました。

最初に感じたことは、アメリカの食文化についてです。日本に比べて、肉中心のアメリカでは、一日に摂取する油の量が多かったです。

次に、交通機関についてですが、車の量が多いアメリカでは、渋滞が多く、排気ガスが、とても多いと感じました。

親元を離れての十日という時間の中で学んだ事も、嬉しかった事もたくさんありました。

言葉が通じない環境で、自分の力がためた事、英語力を向上させた事。このような機会をつくって下さった、町長さんをはじめ、家族のみんなに感謝したいと思います。

## 藤井 千裕 浮金中学校2年

私は、今回のサマーキャンプ中学生の翼に参加し、ホームステイやキャンプを通して、生活の仕方や食文化、集団生活での大切な事、その他色々な事について、詳しく知ることができました。

ホームステイでは、積極的に会話をし、アメリカの家庭を詳しく知ることができました。キャンプでは、総班長として責任をもって、団員全員をまとめ、全員が何にでも楽しく、積極的に取り組むことができるよう心がけました。

最初は、不安や緊張感でいっぱいでしたが、それが、徐々に喜びや、楽しみに変わり、一日一日を大切に、とても充実した十日間となりました。この研修で学んだことを、今後の生活や勉強に活かしていきたいです。



キャンプ場で



キャンプ場の水上スキー



ホストファミリーと

# 参議院議員通常選挙結果

## 投票率は68・20%

任期満了に伴う第21回参議院議員通常選挙の投票が7月29日に行われました。その結果について、お知らせします。

投票率は68・20%（選挙区選挙）で県平均の61・57%を上回る投票率となりました。

また、年代別投票率では、80歳代の84・68%が最も高く、20歳代の43・00%が最も低い結果となりました。

期日前投票では、1733名の方が投票されました。これは、投票を行った方の4人に1人が期日前投票所で投票したことになります。

今回の選挙は、8投票所に統合して2回目の投票となりましたが、皆様のご理解によりスムーズな投票ができましたことにお礼申し上げます。

併せて、選挙事務並びに棄権防止のため啓発等にご協力を頂きました関係者皆様に対し厚くお礼申し上げます。

なお、投票及び開票の結果につきましては下表のとおりです。

### 第21回参議院議員通常選挙投票結果及び開票結果

#### ○投票結果（福島県選挙区）

区分	選挙当日の有権者数	投票者数	投票率
男	4,745人	3,254人	68.58%
女	5,069人	3,439人	67.84%
計	9,814人	6,693人	68.20%

#### ○比例代表選出議員選挙 政党名及び政党別得票数

政党名	得票数
維新 新 風 党	17,000票
社会 民主 党	249,000票
公 明 党	430,800票
9 条 ネット	9,000票
共 生 新 党	10,000票
日 本 共 産 党	190,000票
国 民 新 党	132,000票
自 由 民 主 党	2,043,198票
民 主 党	3,117,888票
新 党 日 本	74,000票
女 性 党	55,111票
計	6,327,997票

#### ○福島県選出議員選挙

##### 候補者及び候補者別得票数

候補者	得票数
小川 右善	236票
森 まさこ	2,525票
宮本 しづえ	267票
かねこ 恵美	3,514票

※無効投票 151票

※無効投票 364票

※比例代表の候補者別得票数については、省略します

# 優良納税貯蓄組合

## 県中振興局長表彰

このたび、役場応接室において、平成19年度優良納税貯蓄組合地方振興局長感謝状の贈呈式が行われました。受賞した仲町第4（組合長高橋昭三さん）、南田原井北ノ内（組合長宗像清明さん）の二つの組合に、県中地方

振興局県税部長より感謝状が贈られました。この表彰は県税の納税について、功績のあった個人及び団体に対するものです。受賞おめでとうございます。



写真右から、県中振興局県税部長、高橋仲町第4組合長、宗像南田原井北ノ内組合長、穴戸町長、国分小野町納税貯蓄組合連合会長

## 水道水水質検査結果について

7月に実施した水質検査結果は、別表のとおりです。

◆問い合わせ

地域整備課 ☎72-69336

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0 CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	7.2 mg/l
ジェオスミン	0.00001mg/l以下	<0.000001 mg/l
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	<0.000001 mg/l
有機物(TOC)	5mg/l以下	0.6 mg/l
pH値	5.8~8.6	7.2
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	<1度
濁度	2度以下	<0.1度

# 2007小町ふれあいフェスタ開催！ 10月27日(土)・28日(日)



2007小町ふれあいフェスタが10月27日(土)、28日(日)小野運動公園において開催されます。  
地場産品の展示・即売、農作物展、伝統芸能の公演、幼児及び小中学生作品展、菊花・盆栽展、小野警察署コーナーなど、今年も盛り沢山のイベントを予定します。  
詳しくは、10月下旬に発行予定の新聞折り込みチラシをご覧ください。

昨年の小町ふれあいフェスタのようす



## 「森林整備交流会」を開催します！ 自然観察や 木工品を作ってみませんか!!

森林に親しみ環境の大切さを理解し、森林環境事業の推進に協力いただくため交流会(自然観察や木工品の作成)を左記により実施します。

- 主催 福島県
- 期日 10月7日(日)
- 場所 緑とのふれあいの森公園

●集合 役場前、午前10時  
バスを準備します  
※昼食は、各自で準備してください

なお、木工品作成のため保険の加入が必要となりますので、募集人員は先着40名とさせていただきます。

また、木工品の優秀作品には記念品を、参加者全員に粗品を用意していますので気軽に応募してください。申込用紙は役場窓口に準備しています。

▼森林環境事業では、森林環境税をもとに、小中学校を対象とした森林の環境学習、県民参画による森林整備、

さらには、森林環境基金事業(県事業)によるスキ・ヒノキの間伐等の森林整備を実施しています。

### ◆問い合わせ

県中農林事務所林業グループ  
☎024-935-1370  
産業振興課  
☎72-69935



森林(もり)に親しもう!

# の暑い夏



# おのまち夏まつり

8月15日、横町、荒町、中通の町中心部を会場に「おのまち夏まつり」が開催されました。

小野中学校吹奏楽部の演奏、絵ねがた展示、和太鼓演奏、浴衣コンテスト、たかむら踊りや仮装盆踊りなどさまざまな催しが行われました。

また、大通りにはたくさんのお店が並び、約9500人の人出で街は賑わいを見せていました。

まつりのメインでは、約700発の花火が小野中のグラウンドから集中して打ち上げられ、道行く人たちも見入っていました。



# おのまち

## こまちダムでヨット・カヌー体験会実施

7月28日、こまちダムで開催した「こまちダム祭り」の中で、OP（オプティミスト）ヨット・カヌーの体験会を行いました。

小野町では今年度からB&G財団の「おためし海洋クラブ」制度を活用し、カヌー艇、OPヨット3艇、救助艇1隻の舟艇が配備されました。今回、これらの舟艇を使用して体験会を実施しました。当日はたくさんの方々が会場を訪れ、ヨットとカヌーを体験していました。

OP（オプティミスト）とは、英語の「Optimist」で、意味は「楽道家」。全長2・31m、全幅1・13mの小さなヨットで、OPの愛称で世界中の人々に親しまれているヨットです。現在、国際セーリング連盟（ISAF）が承認する最も小さなクラスです。国際的に15歳までの子供達にだけ許されたヨットであり毎年、世界選手権大会を始め、多くの大陸選手権が行われています。

このヨットの特徴は、強風下でも強い安定性が保たれ、容易に操船できる事で、ヨットの入門艇として世界中で高い評価を得ています。100カ国、15万人以上の子供たちに普及し、日本でも現在、約4000艇が活動し、全日本OP級ヨット選手権大会を初め、多くの大会が日本各地で開催されています。

おためし海洋クラブとは、こまちダム完成に伴い、ダム水面の有効活用を考慮し、海洋性スポーツ・レクリエーションの普及、あわせて青少年の健全育成を図ることを目的として設立しました。

また、海洋性レクリエーション指導者会を中心に町内のスポーツ少年団を対象に6月から9月まで活動を実施しています。

体験したい方は町民体育館までご連絡ください。

◆問い合わせ  
町民体育館 ☎7212518



# 小野町障害認定審査会委員 4名の委員を委嘱

障害認定審査会は、障害を持つ方がホームヘルプサービスや、施設で短期入所などの介護給付サービスを受ける場合に必要となる障害程度区分(※)を、主治医からの意見書や106項目の認定調査結果などから心身の状況などの程度なのか審査・判定する機関です。

平成18年9月から始まった小野町障害認定審査会の委員は、今年の3月末に任期満了となりましたが、4名の委員の皆様のご理解・ご協力の下、再任として委嘱することになりました。

4名の委員の皆様には、任期である2年間、小野町の障害福祉の向上のためご活躍いただきます。

※障害程度区分  
区分1〜6の6段階に分けられ、利用できるサービスの種類などの判断材料となります。

委嘱された委員は次のとおりです。(敬称略)

- 審査会会長  
野内 純一(社会福祉法人福音会障害福祉サービス事業力ノソ所長)
- 会長職務代理  
二瓶 美代子(公立小野町地方総合病院看護部長)
- 委員  
高橋 志雄(医療法人安積保養園あさかホスピタル副院長)
- 委員  
中山 博晶(医療法人島貫整形外科理事)



審査会のようす

## 10月は 労働保険適用促進月間 『雇ったら、入る。』

労働保険(労災保険・雇用保険)は、労働者が労働災害や失業したときに必要な保険給付を行ない、労働者の生活の安定・社会復帰や再就職の促進・雇用機会の増大等を図ることを目的として、政府が管理・運営している強制的な保険制度です。

事業主のみならず、加入手続きはお済みですか  
加入手続きを怠っていた期間中に、労働災害が生じ保険給付を行なった場合、遡及して労働保険料を徴収するほか保険給付に要した費用の全額又は一部を徴収することとなっています。

労働者を1人でも雇っている事業主は、労働保険に加入する義務があります  
手続きがお済みでない事業主の方は、最寄りの労働基準監督署・ハローワーク(公共職業安定所)又は労働保険事務組合(労働保険の事務を代行する団体で、商工会、事業協同組合等があります)におたずねください。

◆問い合わせ  
福島労働局  
☎024-536-4600

## 国民年金コーナー

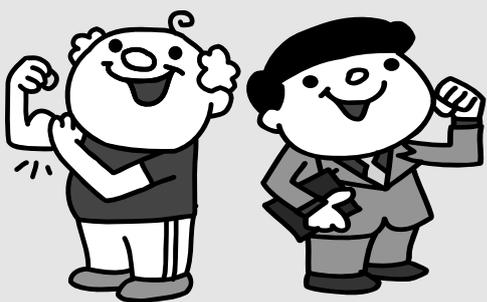
### 付加保険料を納付しませんか

付加年金とは  
平成19年度の老齢基礎年金の年金額は79万2100円(満額40年間保険料納付)ですが、老後により高い老齢基礎年金を受けたいと考えている方のために、毎月の保険料のほかに付加保険料を上乗せして納付すると、老齢基礎年金に上乗せして支給される付加年金があります。

付加保険料の額は一月月400円です。付加保険料を納付することができる対象者の方は、第一号被保険者または任意加入被保険者の方です。

保険料の免除または保険料の納付猶予を受けている方や国民年金基金の加入員の方は、付加保険料を納めることはできません。また、農業者年金の加入者は、必ず付加保険料を納付しなければなりません。

◆問い合わせ  
郡山社会保険事務所  
☎024-932-3480  
町民生活課  
☎72-6933

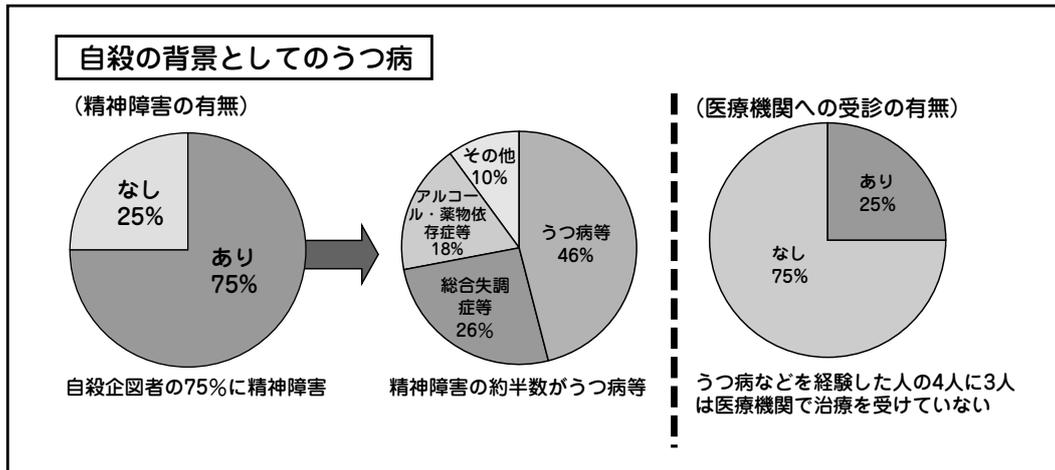


付加年金額は  
付加年金額の計算は、次のとおりです。  
年金額1200円×付加保険料納付月数(65歳から老齢

# 今年から『自殺予防週間』が設定されました

## 9月10日～16日までの1週間

自殺者数は、平成10年に3万人を超え、年々増えてきています。  
 自殺は個人の自由な意思や選択の結果と思われがちですが、実際には、様々な要因が複雑に関係して、心理的に追い込まれた末の死と言えます。  
 自殺者の多くは、自殺の直前にうつ病などの精神疾患を発症しています。



うつ病は、「心のかぜ」といわれるように、誰もがかかる可能性のある病気です。心配や過労、ストレスが続くとかかりやすく、自殺との関係が深いため早期発見早期治療が大切です。  
 まずは家族が、相談の場を利用したり、医療機関で相談することもよいでしょう。電話等で気軽に相談してみてもいいですか。

### こころの相談室

相談日	9月20日(木) 午後1時～3時
会場	母子健康センター
相談内容	ストレスに関する悩みや、思春期のこころの問題など、こころの健康についての相談をお受けしています。
申し込み	予約制です。まず、電話等で予約してください。
電話番号	72-6934 (健康福祉課)

### 自殺予防いのちの電話

相談日	9月10日から毎月10日 午前8時～翌日午前8時 (24時間無料)
電話番号	0120-738-556 (フリーダイヤル)
相談内容	自殺に関わる相談をします。

\*上記以外のこころの相談室については、おのまち健康カレンダーを参照ください。

### 休日当番のお医者さん

月 日	当 番 医	所 在 地	電 話 番 号
9月16日(日)	公立小野町地方総合病院	小 野 町	(72) 3181
17日(祝)	奥 秋 医 院	田村市(船引町)	(86) 2034
23日(祝)	さ い と う 医 院	小 野 町	(72) 2500
24日(休)	石 川 医 院	三 春 町	(62) 2630
30日(日)	清 水 医 院	田村市(船引町)	(82) 3535
10月7日(日)	島 貫 整 形 外 科	小 野 町	(72) 2722
8日(祝)	かとうの内科クリニック	田村市(船引町)	(81) 1388
14日(日)	白 岩 医 院	田村市(常葉町)	(77) 2036

\*電話確認のうえ受診してください。

\*詳しい情報は、「福島県救急医療情報システム」の「休日当番医検索」をご覧ください。

<http://www.ftmis.pref.fukushima.jp/qq/qq07tpmnl2.asp>

# 夕涼み会 夏休みの思い出 小野わかば幼稚園

夏休みの楽しい思い出に、年長組の園児だけが参加する「夕涼み会」を行いました。

親子で作った風鈴や手作りのお面などで雰囲気満点の会場に集まった子ども達は、カレーの夕食をとりながら夜店まわりに期待を膨らませていました。夜店は、ヨーヨー・輪投げでのお菓子とり・くじ引きでオモチャ当て・ドキドキのお化け屋敷・おいしいフライドポテトがあります。友達とおしゃべりしながら順番を待ったり、期待通りの品が取れて喜んだり、自分で引き当てたオモチャを大事そうに見せていました。お化け屋敷は、3〜4人のグループで入ります。怖がる友達の手をしっかりと握り、「一緒に行こうね」と励ましてくれる子。「お店まわってるから、待ってあげるの」と優しく待っている子。お化け屋敷の中で、途中遅れた友達に気付き戻ってあげる子など様々な姿が見られました。ホッとした所で満足そうにフライドポテトを食べ、PTAの方が行ってくれた花火に大歓声が上がっていました。

友達との「楽しい」体験は、子ども達の心に大切な物を残してくれたことと思います。



「わーい、おかしがとれた」



「キヤー、おぼけ」

# 全国大会。東北大会 出場者を激励

## ◆全国高等学校総合文化祭

7月29日から島根県で開催された全国高等学校総合文化祭書道部門に福島県代表として出場した阿部祐太郎さん（郡山東高校3年）に、穴戸町長より激励の言葉と激励金を贈りました。



## ◆東北・全国中学校体育大会

第50回福島県中学校体育大会柔道競技（女子）において優勝した、小野中学校3年の大方文子選手（44kg級）、横田和希選手（48kg級）が、8月7日に会津若松市で開催された東北大会及び、8月22日に山形県天童市で開催された全国大会に出場しました。

穴戸町長より2選手に激励の言葉と激励金を贈りました。

東北大会、全国大会の結果は、次のとおりです。

- ◆全国高等学校総合体育大会
- ◆東北少年学童軟式野球大会
- ◆全国高校総合体育大会（インターハイ）出場の選手4名及び東北少年学童軟式野球大会選手権の出場1チームに対し、穴戸町長より激励の言葉と激励金を贈りました。
- 柔道
- 郡司 成晃 田村高校3年
- 久野 澄子 田村高校3年
- 郡司 美幸 田村高校2年
- バレーボール
- 荒井 麻希 相馬東高校2年
- 少年学童軟式野球
- 全国大会
- 横田 和希 1回戦惜敗
- 大方 文子 1回戦惜敗

## ◆全国高等学校総合文化祭



横田さん（左から2人目）と大方さん（中央）

# 英語サマースクール

## 小学校と幼児教育施設で実施しました

公民館では、毎年7月と8月の約2カ月間、「英語サマースクール」を開催しています。

サマースクールは、夏休みの期間、小野町内の全ての小学校と幼児教育施設を訪問して、子どもたちに簡単な英会話を教えたり、ゲームや歌などを通して英語に親しんでもらい、国際理解を深めることを目的として実施するものです。

今年、シエイソン・チェンさんとエミリー・シンプソンさんの二名をお迎えし、子どもたちに楽しく英語の指導をしていただきました。どちらの先生も、大学で日本文化を勉強していたので、とても日本語が上手です。お二人に、小野町での感想を日本語で書いていただきました。



エミリーさん(左)とシエイソンさん(右) 中央さくら保育園で

シエイソン・チェン

僕とエミリーさんは、7月13日に日本に着きました。日本での生活は初めてなので、飛行機から降りた時、ちょっと不安がありました。でも、小野町のみなさんは優しく、温かく迎えてくださったので、早く慣れることができました。

僕は、子どもの頃に旅行で何日か日本に来ただけで、経験があまりなくて、文化も習慣も全然分かりませんでした。それに、日本語はとても下手なので、いつも間違っていました、公民館のスタッフやホストファミリーのみなさんには本当にご迷惑をかけた。

サマースクールでは、色々な学校で教えました。子どもたちはいつもがんばって、一緒にたくさんのごちそうを勉強しました。

授業では、あいさつや、数や、色々なことを教えました。日本語もみんなに教えることも、まだまだ下手なので、いつも元気な子どもたちには本当に助けてもらいました。学校の校長先生や先生たちにも親切にしてください、本当にありがとうございました。

小野町のサマースクールは、とても素晴らしいことだと思います。アメリカでも、このようなプログラム



浮金小学校で

はあまりありません。子供は、小さければ小さいほど、外国語を覚えやすいので、小学校での英語の経験はこれからとても彼らの役に立つと思います。

小野町の町民は、みなさんとても優しく、親切です。小野町の motto は「笑顔とがんばりの町」ですね。これを知った時、本当にこのとばの通りのみなさんだなと心から感じました。

僕とエミリーさんは、アメリカに帰ってから、小野町のみなさんのようにいつも笑顔でがんばれるようにしたいです。

僕たちは、小野町にいる間、とても楽しく過ごすことができました。みなさん、お世話になり本当にあり

がございました。

エミリー・シンプソン

私とシエイソンさんは、これまで子どもたちに英語を教えた経験がないので、小野町に来て初めはとても緊張しました。しかし、小野町のみなさんは本当に優しくして下さって、私達はとてもありがたかったです。

私達は小野町にいる間、ホームステイをしていましたが、ホストファミリーのみなさんや公民館のみなさんをはじめ、とても親切にしてください、私達が日本語や日本の習慣のことで間違っても優しく教えてくれて、小野町のみなさんはとても素晴らしいと思いました。

英語の授業の時も、最初は慣れなくて良い教え方ができなかったのですが、だんだんと楽しくできるようになりました。子どもたちは、難しい英語を一生懸命に勉強してくれて、英語を使ってゲームしたり、歌も歌ったりしてくれました。そして子どもたちは、いつも色々な質問を私にしてくれて、ことばだけではなくてアメリカの文化にも興味を持ってくれたようなので、とてもよかったです。

英語の勉強だけでなく、国際的なふれ合いとコミュニケーションができたことが、とてもうれしかったです。

小野町のみなさん、心から「ありがとうございました。」

# ふるさと文化の館からのお知らせ

## ●図書館

◇新着本

書名	著者名	出版社
夜は短し歩けよ乙女	森見 登美彦	角川書店
夜明けの街で	東野 圭吾	角川書店
百年恋人	新堂 冬樹	双葉社
アサツテの人	諏訪 哲史	講談社
日本の古典を読む 古事記	山口 佳紀 校訂・訳	小学館
日本の古典を読む 平家物語	市古 貞次 校訂・訳	小学館
吉原手引草	松井 今朝子	幻冬舎
ドリームバスター 4巻	宮部 みゆき	徳間書店
アフリカによりり旅	青山 潤	講談社
哲学の歴史	加藤 尚武 責任編集	中央公論新社
俳句鑑賞450番勝負	中村 裕	文藝春秋
空気と戦争	猪瀬 直樹	文藝春秋
こんなときどうする? 子どもの病気 症例別	鈴木 洋	チャイルド本社
ぺんけいとおとみさん	石井 桃子	福音館書店
地球動物記	岩合 光昭	福音館書店
博物館へ行こう!	木下 史青	岩波書店
宣教師マザーテレサの生涯	工藤 裕美	上智大学出版

書名	著者名	出版社
日本人の作法	川北義則	徳間書店
晩年の美学を求めて	曾野綾子	朝日新聞社
おとなのいのちの教育	水野治太郎・日野原重明	河出書房新社
天命	五木寛之	東京書籍
家計簿の中の昭和	澤地久枝	文藝春秋
大切な人へ――生きることば――	瀬戸内寂聴	光文社
美の壺 風呂敷	NHK美の壺制作班 編	日本放送出版協会
パソコンで作ろうプレゼント	中高年のパソコン手習い塾	日本放送出版協会

## 敬老の日におすすめの本

敬老の日におすすめの本です。  
読書で活力を得たり、教養を養ってみませんか。

～心ゆたかに生涯読書～



## ●美術館

◇片山健絵本原画展

「タンゲくん」「コッコさんのかかし」などで有名な絵本作家片山健さんの絵本原画展です。約80点の原画を展示します。ぜひご鑑賞ください。

▼日時 平成19年 9月29日(土)  
～10月14日(日)

午前9時～午後5時

▼場所 ふるさと文化の館・美術館

▼観覧料 大人300円 高校生以下無料

◇筆星会展

筆星会のみなさんの書道作品展です。

▼日時 平成19年9月22日(土)  
～9月24日(月)

午前9時～午後5時

▼場所 ふるさと文化の館・美術館



◆問い合わせ ふるさと文化の館 ☎72-2120

## 小野町スポーツ少年団 水中運動会開催

8月18日、海洋センタープールにおいて小野町スポーツ少年団本部主催の水中運動会が開催されました。

6団体から約100名の団員が参加し、水中ならではの競技を楽しみました。プールサイドには応援の保護者がかけつけ、大きな声援をおくっていました。

結果は次のとおりです。

### ●高学年の部

優勝 サッカースポーツ少年団

準優勝 剣道スポーツ少年団

第3位 女子バレーボール  
スポーツ少年団

### ●低学年の部

優勝 サッカースポーツ少年団

準優勝 剣道スポーツ少年団

第3位 男子バレーボール  
スポーツ少年団

## 町民・親子水泳教室開催

8月1日から10日までの5日間、海洋センタープールにおいて町民・親子少年水泳教室を実施しました。教室には16名の方が参加し、町民の部、親子の部に分かれ水泳の基本を学びました。最終日には成果発表を行い、5日間の練習の成果を披露しました。これからも水泳に親しんでください。



うまくバタ足できたかな？



水中4人5脚



浮き輪でGO！



# 目指せ！ Jリーグ



毎週金曜日の午後3時から、町民体育館で一生懸命サッカーボールをけている子どもたちの姿があります。ピアンコーネ福島のキッズサッカースクールに参加している子どもたちです。

ピアンコーネ福島は、Jリーグ昇格を目標に、郡山市と近隣市町村をホームタウンとして活動しているサッカークラブで、現在は東北社会人リーグ2部南ブロックに所属しています。

Jリーグに昇格するには、下部リーグを勝ち抜くことはもちろんですが、Jリーグの理念である「地域密着」を実現するためピアンコーネ福島では、小野町をはじめ、福島市、須賀川市、泉崎村でキッズサッカースクールを開催しています。

小野町では、幼児7名、小学生4名の11名が毎週活動しています。指導にあたるのは、日本サッカー協会公認指導者の資格を持つ安藤勇介コーチと中川正樹コーチ。



スクールの目標は、人間の神経系統の90%が完成すると言われる幼児期から9歳までにさまざまな体の動き・運動をすることでスポーツを楽しむ体の基礎を作ることです。

実際の活動でもボールを使わずに体を動かすことに重点を置いています。ボールを使う時も、基本動作である「足でボールを扱う」ことに重点を置いているそうです。

「一番大事なことは、きちんとあいさつができることです。」と安藤コーチが言うように、スクールの始まりと終わりに子どもたちがあいさつする大きな声がかさわやかでした。

※キッズサッカースクールの対象は、幼稚園・保育園の年中から小学校2年生までです。体験入会も可能です。詳しくは、お問い合わせください。



### ◆問い合わせ

ピアンコーネ福島

☎024-942-1781

担当 安藤・中川

# 小野町の豊かな自然の中で

## B&G「親と子のふれあいキャンプ」開催

8月3日から5日の2泊3日で、緑とのふれあいの森公園でB&G「親と子のふれあいキャンプ」が開催されました。

このキャンプは、B&G財団主催、日本財団・(財)小野田自然塾の協力により実施したものです。「日常生活では体験できない多彩な自然活動プログラムを通じて、親と子が協力し、話し合い、親と子の絆を深める」ことを目的としています。

今回のキャンプの参加者は親子8組16名。午後1時から開講式がおこなわれ、穴戸町長、B&G財団大島康雄常務理事、小野田自然塾小野田寛郎理事長があいさつをしました。



開講式後、小野田氏の講演を聞きました。講演では、なぜ小野田氏がキャンプを通じて子どもたちの健全育成に関わろうと思ったようになったのか、そのいきさつから最近の親子、学校、社会について話をされました。特に最近の子どもたちが起こす事件については、「学校が悪い、社会が悪いといわれているが、誰も親が悪いとは言わない。しかし、親には責任があります。自然の中で、子どもの限界に挑戦させれば、たくましい勇気のある人間に育てることができ、その活動の中で、感動を覚え、他人の得意な面、自分の不得意な面を理解する。そして、自分の本質を見つけ出し、将来の姿をイメージできるようにする。子どものうちにいろいろな体験をさせないと、将来何をやりたいか見つけることができないのです」と、家庭と自然教育の重要性を指摘していました。

参加者のみなさんは、ルバン島での生活と、20年以上にわたるキャンプを通じた青少年育成活動での経験を基に熱く語る小野田氏の講演に真剣に聞き入っていました。

講演の後は、みんなで力を合

わせ、テントを設営しました。テント設営後は、夕食を作りしました。決められた食材をもとに、何をつくるか班で相談し、調理をしました。



夕食後は、ナイトウォークを

行いました。キャンプ場のすべの明かりを消し、夜の暗さに目を慣らします。真っ暗な森の中を「ケミ虫」と呼ばれるホタルの光に似た小さな灯りだけをたよりに、たった一人でゴールを目指しました。このプログラムは、小野田さんがルバン島のジャングルで真っ暗な夜、足の感覚だけで歩いた経験をもとに考案されたプログラムで、決して肝試しではありません。こ

のプログラムを通じて、普段の生活では気づくことのない、自分の持つ光に対する能力を知ることができました。

翌朝は、6時から朝の集いを行い、朝食の準備に取り掛かります。朝食はパンですが、各班ともサンドイッチをつくりました。また、飯ごうで飯を炊き、昼食のおにぎりも一緒に用意しました。

朝食後は、ロープとのこぎり、ナタを駆使して、竹のいす作りを行ないました。



11時からは、キャンプ地から約1キロのところにある東堂山まで尾根づたいに歩いてハイキングをしました。

ハイキング後は、休憩をはさみ、夕食の準備をしました。この日の夕食は「サバイバルゲーム」です。これは隠された食材を、各班で探し出し、獲得した

食材で夕食を作ります。食材を探し出せなければ、夕食は食べられません。各班のチームワークが問われるプログラムです。各班とも、ハイキングの疲れを忘れお米やおそばなどの主食を探していました。

最後の夜は、キャンプファイアー。炎が明るく、周りを照らしていました。

最終日の朝食はできるだけ、短時間で、できるだけ洗い物を出さず、そしておいしいものを作るのに牛乳パックを使ったホットドックを作りました。作り方は、パンをアルミホイルで包み、牛乳パックの中に入れ、火をつけるだけです。牛乳パックにある口ウが程よい火加減となり、ホットドックの完成です。朝食後は、テント撤収と掃除を行ない「親と子のふれあいキャンプ」の全日程を終了しました。



ふるさと小野町会  
ふれあい通信

「ふるさと・夏雑感」

國分紀光（飯豊出身・東京支部）



台風5号が日本海を北上した日、ふるさとに行ってきた。毎年なのですが、お盆を迎えるための墓地の清掃です。いつもは、この前に一度手入れに来るのですが、今年は諸々の忙しいことがあったため、春以来となり、雑草が思いっきりはびこっていました。かんかん蝉が喧しく合唱する中、大汗を流しながらの作業は、正直疲れました。義兄に手伝ってもらいながら休み休みで3時間ほど、何とか格好がついた。草葉の陰のご先祖さまも、さっぱりして少しは喜んでくれたかなあ。

墓地の向かい側は、50年ほど前、我が家が葉タバコを作っていたところ、ソウヤがあり、葉タバコの干し場があった。毎日毎日のタバコ挟み、雷さま雨に追いかけれながら地干しを取り込んだことなどが懐かしい。今は葉タバコを作る人も激減し、この地も僅かな野菜畑があるだけ、大半の畑は雑草が幅をきかせている。

目を転ずれば青々とした田んぼが広がる、今年は生育が遅れているようで作況は「やや不良」とか。実りの秋までにせめて「平年並み」に回復し、笑顔で刈り取りができるようになることを願っています。

就業構造基本調査

10月1日現在で実施します  
調査の対象となった世帯には、  
9月下旬から調査員がお伺いします

10月1日、就業構造基本調査が行われます。この調査は、国民のふだんの就業・不就業の実態を明らかにし、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的としており、全国から抽出された約45万世帯の15歳以上の方々が対象となります。

調査結果からは、若者、高齢者や女性の多様化する就業状況や産業構造の変化に伴う雇用流動化の実態など就業に関する詳しい状況が明らかになり、雇用施策や経済政策などの各種行政施策を立案する際の基礎資料となります。

調査の対象となる世帯には、9月下旬から「調査員証」を携行している調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。

◆問い合わせ  
企画課 ☎72-6939



秋の行政相談週間 悩みや苦情は、まず相談！

10月15日（月）から21日（日）の1週間が「秋の行政相談週間」です。

行政相談は、役所（国、県及び市町村）やNTPなどの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、みなさんと関係行政機関等との間に立ってその解決をお手伝いするものです。

行政相談委員は、いつでも自宅や相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

また、相談所を次により開設しますので、ぜひこの機会をご利用ください。

○行政相談会

▼日時 10月18日（木）  
午前10時～午後3時



○行政相談員  
二瓶 洋補 氏  
谷津作字松葉1番地の2  
☎72-13297

▼場所 小野町多目的研修集会施設  
1階・青年婦人研修室

◇発売期間 10月1日～10月19日

オータムジャンボ宝くじ

1等前後賞合わせて2億円

お買い求めはお早めに！  
この宝くじの収益金は市町村の明るく住み良い街づくりに使われます。

9月11日は「警察相談の日」！

安心の相談ダイヤル#9110へ



振り込め詐欺（架空請求）（オレオレ詐欺）は、冷静に家族と相談してから対応してください。

小野警察署  
☎72-2121



# 行事カレンダー（9月16日～10月15日）

月日	行事名
9月16日(日)	休日窓口業務実施日8:30～17:00 9か月児健診(受付13:30～14:30) 柏原クリニック
9月17日(月)	●敬老の日 第46回敬老会10:00～多目的研修集会施設
9月18日(火)	
9月19日(水)	あそびの広場9:30～11:30子育て支援センター 3か月児健診・BCG接種(受付13:00～13:30) 公立小野町地方総合病院 窓口業務延長19:00まで
9月20日(木)	町内小学校陸上記録会9:00～多目的グラウンド ちびっこおはなし会11:00～11:30ふるさと文化の館 こころの相談室(要予約)13:00～15:00母子健康センター
9月21日(金)	秋の全国交通安全運動(30日まで)
9月22日(土)	
9月23日(日)	●秋分の日
9月24日(月)	●振替休日
9月25日(火)	栄養相談10:00～12:00母子健康センター
9月26日(水)	あそびの広場(人形劇1人750円)9:00～11:30子育て支援センター 3歳児よい歯の表彰式(受付15:15～) 母子健康センター 窓口業務延長19:00まで
9月27日(木)	
9月28日(金)	ふるさと文化の館図書館館内整理日休館 ヘルスアップ運動教室13:30～15:30多目的研修集会施設
9月29日(土)	
9月30日(日)	海洋センタープールクローズ
10月1日(月)	
10月2日(火)	おやつ教室受付10:00～10:15保健福祉センター
10月3日(水)	あそびの広場9:30～11:30子育て支援センター 3歳児健診(受付13:00～13:15) 母子健康センター 窓口業務延長19:00まで
10月4日(木)	ちびっこおはなし会11:00～11:30ふるさと文化の館
10月5日(金)	
10月6日(土)	
10月7日(日)	
10月8日(月)	●体育の日
10月9日(火)	
10月10日(水)	あそびの広場9:30～11:30子育て支援センター 窓口業務延長19:00まで
10月11日(木)	人権相談所開設10:00～15:00母子健康センター
10月12日(金)	ヘルスアップ運動教室13:30～15:30多目的研修集会施設
10月13日(土)	
10月14日(日)	9か月児健診(受付13:30～14:30) 柏原クリニック
10月15日(月)	献血(受付10:00～16:30) 町内巡回

## お誕生おめでとう

氏名	父	母	行政区
小松 彩姫(さき)	邦 男	静 枝	本 町
大越 珠菜(じゆな)	政 志	恵 美	反 町
佐藤 拓斗(ひろと)	稔	仁 子	谷 津 作
大和田就斗(しゅうと)	亙	久 美	浮 金

(7月届出分)

## おくやみ申し上げます

氏名	年齢	行政区
門 脇 幸 夫	87	反 町
渡 邊 若 子	74	飯 豊 中
長谷川 セ ツ	87	浮 金
宗 像 ミツ子	77	浮 金

(7月届出分)

※この欄は、プライバシー保護のため、届出の際に同意を得た方を記載しています。

## 町の人口

平成19年8月1日現在

人 口	11,829人(△2)
男	5,689人(△1)
女	6,140人(△1)
世帯数	3,799世帯(△3)

( )内は前月との増減  
福島県現住人口調査結果から

## 町税納期ご案内

税 目	期別	納期限
国民健康保険税	3期	10月1日(月)

- 納め忘れのないように、ご確認ください。
- 納期内納入にご協力をお願いします。

## あ と が き

「中秋の名月」の中秋とは、陰暦の8月15日のことを指すそうです。そのため必ず満月になるわけではなく、前後2日位の幅があるそうです。今年は、中秋の名月が9月25日、満月は2日後の27日です。

秋の夜長、ゆったりと夜空を眺めながら、日本からしか見えない「月のウサギ」を探してみたいかがですか。(佐)



練習終了後のビアンコーネ福島キッズサッカースクールの子どもたち。楽しみながら本物にふれる。貴重な体験です。

※記事については、常用漢字・人名漢字で記載しております。